

令和8年度 入学式



校長式辞

吹く風も日増しに温かさを増し、ようやく春を実感できるようになりました。本日、多くのご来賓、保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、本校令和八年度入学式を挙げていきたいと思いますことは、私ども教職員一同、何よりの喜びとするところであります。

ただいま、入学を許可した新入生の皆さん、入学おめでとうございます。保護者・ご家族の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。これから始まる高校生活に対する希望に満ちあふれた皆さんを、私たち舞子高校教職員一同、心から歓迎いたします。

本校は、今年で五三年目を迎えました。この間、一万六千を超える皆さんの先輩方は、本校を卒業し様々な分野で活躍されています。皆さんには、先輩方が築き上げてきた本校の伝統を継承しつつも、新たな歴史を築き上げていくのだという気概を持ってほしいと思います。

それでは、晴れて高校生となった皆さんに、三年間の高校生活を始めるにあたり、三つのことについてお話しします。

一つ目は、自分の夢や目標に向かって主体的に取り組んでほしいということです。本校での学びを通して、皆さんが何を学び、何を身に付け、何ができるようになったかが大切であり、皆さんに求められることは、自ら何をすべきかを考え、自らの責任で判断し、自らの言葉で表現すること、受け身の姿勢ではなく主体的に取り組むことです。それらを通して、自らを鍛え、磨き、価値を高めてほしいと思います。

二つ目は、皆さんの中にある無限の資質や能力を開発してほしいということです。

皆さんは、自分自身も、そして周囲もまだ気づいていない能力を秘めています。そして、皆さんの中の「本当の自分」、「無限の可能性」を見つけ、引き出すことが大切です。はじめから「無理だ」と考えるのではなく、「きっとできる」「必ずわかる」と信じて行動し、積極的に挑戦する中で、自分の新たな可能性を見いだしてほしいと思います。

三つ目は、多くの友人を作り、人との繋がりを大切にしてほしいということです。人間という字は「ひとのあいだ」と書くように、人間同士の関わりの中で生活し、育ち、成長していきます。高校生活を通して互いに高め合いながら、真の友情が生まれたという例も少なくありません。皆さんには、スマートフォンの画面にばかり心を奪われるのではなく、実際に顔を合わせ、人と人との息づかいを感じられる関係の中で、悩みを分かち合い、

喜びを共に倍にできるような友人関係を築いてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者・ご家族の皆様をお願い申し上げます。高校の3年間は、お子様のこれからの人生の方向性を決定する上で大切な時期ではありますが、その途上は、楽しいことばかりではなく、苦しいこと、嫌なことにも直面することもあると思います。そんな時には、人生の先輩として、ときには厳しく、ときには冷静に、またあるときには温かく見守っていただき、適切な助言をお願いいたします。私たち教職員も、お子様が自分の進む道を自分の力で見つけ、歩んでいけるよう精一杯支えてまいります。学校とご家庭がそれぞれの立場から協力し合い、信頼関係を大切にしながら、子どもたちの良さや個性を伸ばしていければと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。

新入生の皆さんが、今日の喜びと決意を忘れることなく、充実した高校生活を過ごし、立派に成長されることを願って、式辞とします。

令和八年四月八日

兵庫県立舞子高等学校長 富永 和典